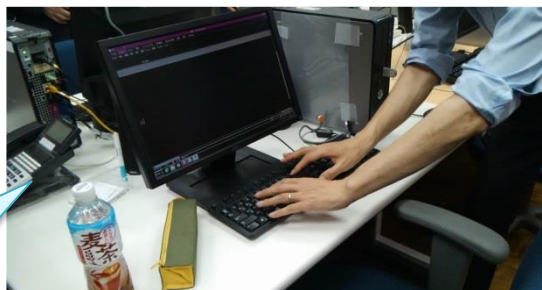


2019年10月15日(火)、新宿区にある東京視覚障害者生活支援センターを見学に行きました。日常生活をより豊かにする機能訓練と、パソコン技能やマッサージ技能等で就労を支える二つの柱で、視覚障がい者をサポートしている施設です。



初めに、センターの設立から民間への移行や利用率など概要を伺いました。

センターの就労移行支援の柱であるパソコン操作の部屋へ。骨伝導ヘッドセットで音を聞きながら入力作業をしている方々が10人ほど、黙々と作業していました。



たまには皆で体を動かすのも良い。バランスボールを使って体をほぐす人たち。



日常生活動作訓練の部屋は、ごく普通の仕様。調理器もガスコンロが置かれています。



音声データ(デージー)を聞くプレクストーク。今や日常生活でもパソコンは必須、センター独自に1から操作手順やブラインドタッチ習得のプログラムを作成したとのこと。